

学院中だより

興誠学園教育理念「誠の精神」

令和5年4月21日 第1号 文責 鈴木清吾

令和5年度が始まりました

新緑のさわやかな季節を迎えました。本年度浜松学院中学校校長に着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、昭和8年に創立され、今年で90年目を迎えます。平成16年に中学校が開校し19年が経とうとしています。令和5年度が新たに始まり、4月6日に始業式、翌7日には入学式を行い、学校に生徒たちの元気な声に戻ってきました。入学・進級と新しい学年で「がんばろう」という気持ちが伝わる、スタートにふさわしい清々しい式となりました。「新しい仲間と仲良くなって楽しく過ごそう。」と言ってもらえるよう、教職員一同、建学の精神に基づく「誠実」「堅実」「着実」を合言葉に、一人一人が輝けるよう支援をしていきたいと思えます。

私からは、始業式で「1, 2年後の自分を思い描いて努力し続けましょう。」と生徒に語り掛けました。職員には、生き生きとした活力・活気、物事に真剣に取り組もうとする意識を生徒に抱かせてほしいとお願いしました。



ホールで実施した始業式

新入生16名、2年生23名、3年生14名の合計53名で頑張ります。

今年度の中学校スタッフです。チームワーク良く子どもたちの支援にあたります。

校長	鈴木 清吾	教頭	安富 光孝 (理科)
主任	村木 晴絵 (数学)	副主任	鈴木 翔大 (英語)
1年A組	岩川 真美 (国語)	イアン・クリステンソン (英語)	
2年A組	大石 彩乃 (保健体育)	マイケル・カトラ (英語)	
3年A組	河村 百恵 (社会)	竹内 佑太 (国語)	



入学式前日のため、2, 3年生が参加しての令和5年度1学期の始業式です。各学年の代表者が誓いの言葉を発表し、教科書授与を行いました。

始業式の翌日、4月7日（金）には入学式が行われました。真新しい制服にそでを通し、緊張の面持ちで登校した新入生。1か月前は最上級生として小学校を支えてきた存在でしたが、今は2，3年生や教職員の応援を受けながら元気に学校生活を送ってほしいと思います。

新入生誓いの言葉

あたたかな春の訪れとともに、私たち16名は浜松学院中学校の一員となります。私たち新入生のために、このように素敵な入学式を行っていただき、ありがとうございます。

私たちは、思い出多き小学校を卒業し、今日からは中学校という新しいステージでの冒険の日々が始まります。新しいことに挑戦するのは不安でいっぱいですが、ここで出会えた仲間と共に乗り越え、助け合い、輝ける毎日を、この浜松学院中学校で過ごしていきたいです。

私には、夢があります。その夢を叶える第一歩を、この浜松学院中学校で歩み始めたいと思い、生まれ育った伊豆から浜松市へ引っ越して来ました。私の夢を応援してくれている家族や、背中を押し、送り出してくれた小学校の仲間へ、輝く私の姿を届けられるように、今日から一歩ずつ前進していきます。先輩方、先生方を前に、努力を惜みず、成長していくことを誓います。

私たちの中学校生活が、かけがえのない瞬間であふれる毎日になるよう、過ごしていきます。

令和5年 4月7日 新入生代表 宮内 杏



朝の挨拶運動

朝の始まりを元気に迎えるために、朝の挨拶運動を始めました。4月10日（月）から14日（金）までの限られた期間でしたが、生徒会役員・野球部の有志生徒に加えて、浜松倫理法人会の宇津山茂さん（本校卒業生）他2名の方、本学理事長・本校職員などが参加して徐々に朝の「おはようございます」の輪が広がっていきました。宇津山さんから挨拶に関する資料をいただいたので紹介します。



みんなであいさつ ありがとう
朝は「お早うございます」 夜は「お疲れ」「お休みなさい」
「頂きます」に「ご馳走様」
お出掛けお帰りごあいさつ 誰かに会ったら「今日は」
別れる時は「左様なら」 失敗したら「済みません」
いたわる言葉は「ご苦労さん」 お礼の言葉は「有り難う」
愛の言葉に花が咲く

挨拶の言葉には意味があって、漢字が使われることがあります。次号では、漢字と結びつく解釈について取り上げます。

「みんなであいさつありがとう」（藤本幸邦作）より抜粋・要約・補足